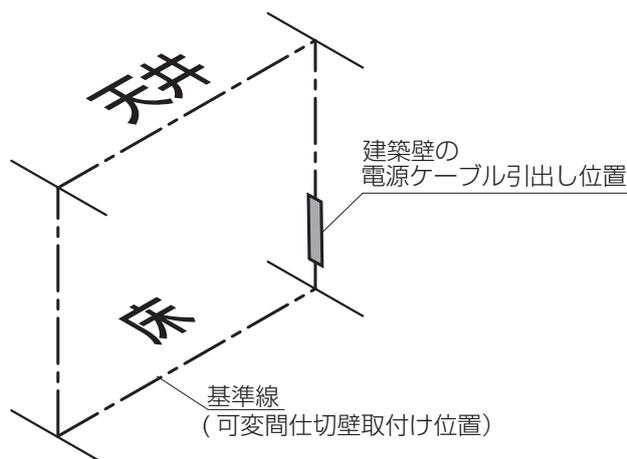
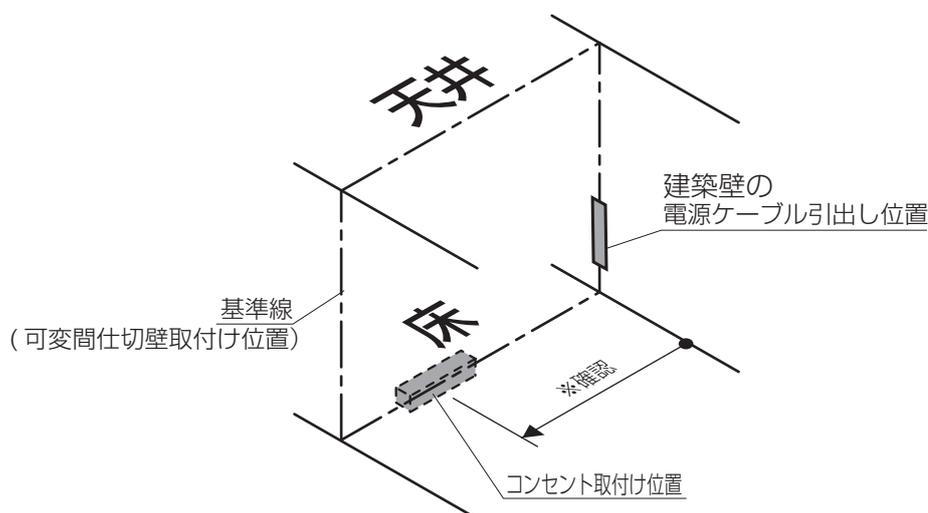


コンセント仕様の条件及び確認

- 1 コンセント仕様の場合、建築壁の電源ケーブル引出し位置に可変間仕切壁を取付けることとなります。建築壁のコンセント位置を確認してください。



- 2 建築壁(電源ケーブル引出し側)より、コンセントを取付ける位置を確認してください。
※. コンセントは壁際(メーターモジュール:壁芯~500mm、尺モジュール:壁芯~455mm)には設置できません。

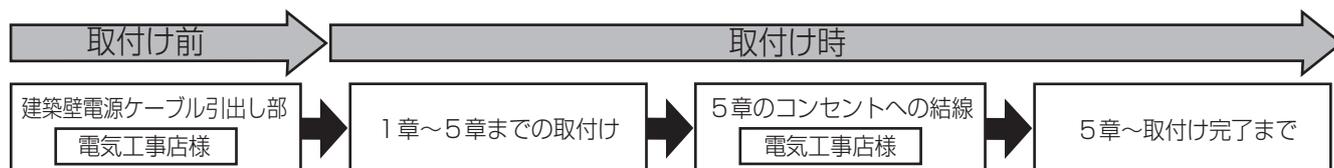


- 3 コンセント仕様の場合、電気工事店様にご依頼していただく作業が、取付け前と取付け途中に発生します。

▲注意

- コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

[取付け完了までの作業フロー]



電気工事店様に依頼していただく作業及び準備物はP13に記載します。

4 コンセント仕様の場合、建築壁の電源ケーブル引出し部は取付け前の準備が必要になります。事前に電気工事店様に依頼をして、下記の作業を完了させておいてください。

▲ 注意

● コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

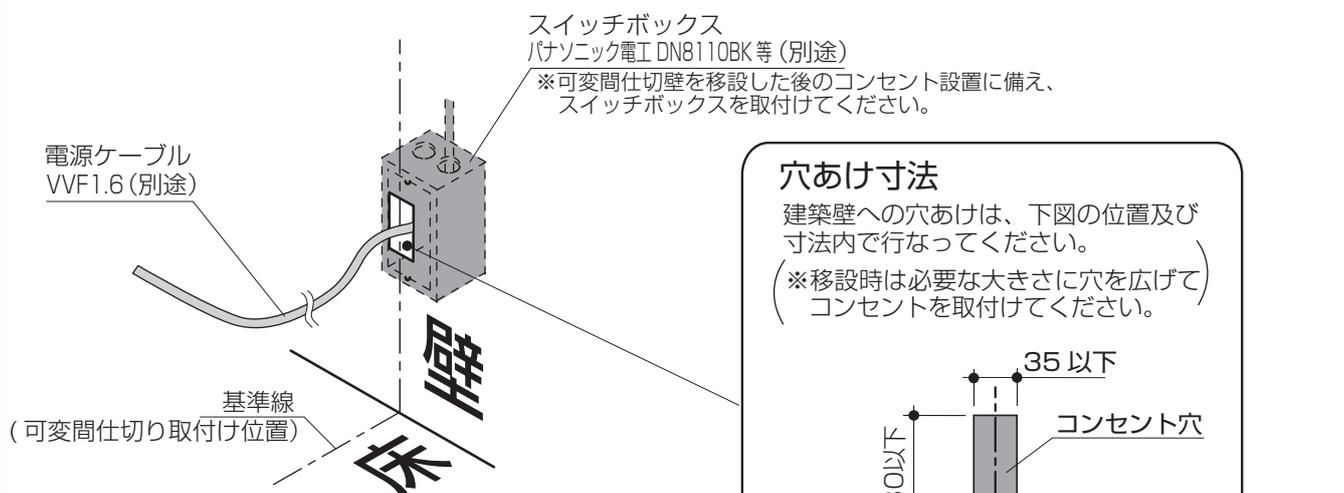
取付け前 - 電気工事店様依頼

建築壁電源ケーブル引出し部

建築壁の電源ケーブル引出し部にスイッチボックスを取付け、建築壁から電源ケーブルをコンセント位置までの必要長さ分を引き出してください。

このとき建築壁の穴あけ寸法の最大が決まっていますので注意してください。

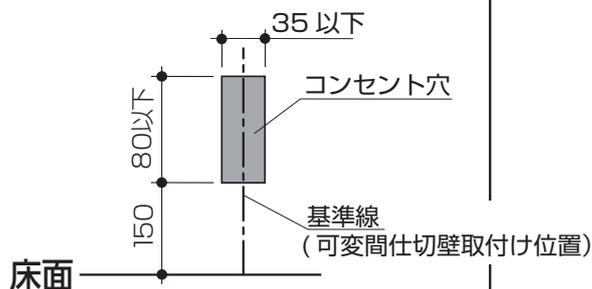
※穴あけ寸法は、スイッチボックスに対して小さくなる場合があります。



穴あけ寸法

建築壁への穴あけは、下図の位置及び寸法内で行なってください。

(※移設時は必要な大きさに穴を広げてコンセントを取付けてください。)



電源ケーブルの必要長さ

電源ケーブルの必要長さはコンセントを取付ける位置によって異なります。下記の公式に基づいて算出した電源ケーブルの必要長さを引き出してください。

電源ケーブルの 必要長さ	=	建築壁から 取付け位置 までの距離	+	350mm 程度 (高さ等)
-----------------	---	-------------------------	---	-------------------

- 5 コンセント仕様の場合、5章で下記の電気工事士の資格が必要な作業が発生します。
電気工事店様に依頼をして、作業を進めてください。

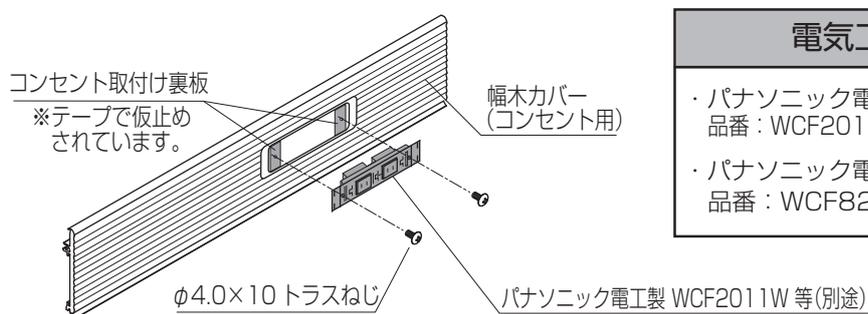
▲注意

- コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

取付け時 - 電気工事店様作業

コンセントへの結線

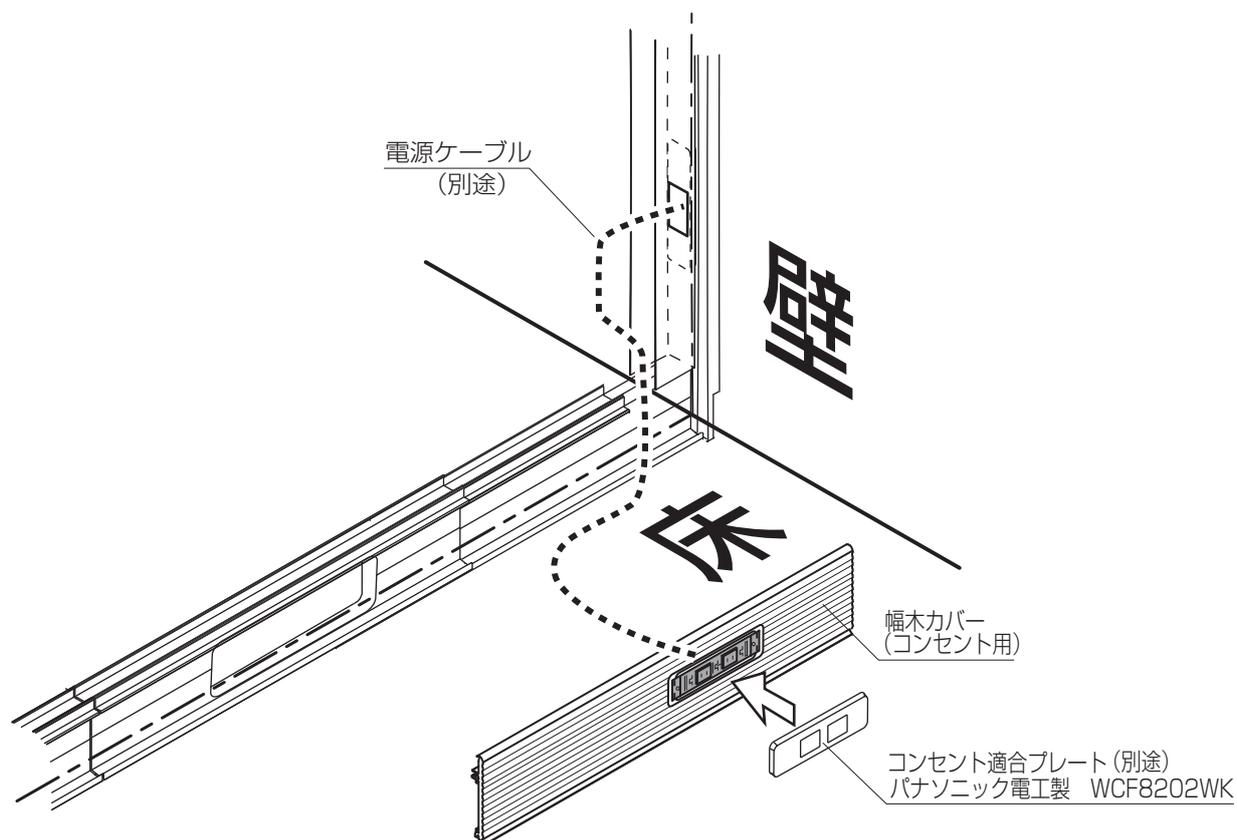
- ①. 幅木カバー（コンセント用）の裏板に、取付け枠指定のコンセント（別途）をねじで取付けてください。
取付けが完了したら、裏板を仮止めしているテープをはがしてください。



電気工事店様準備物

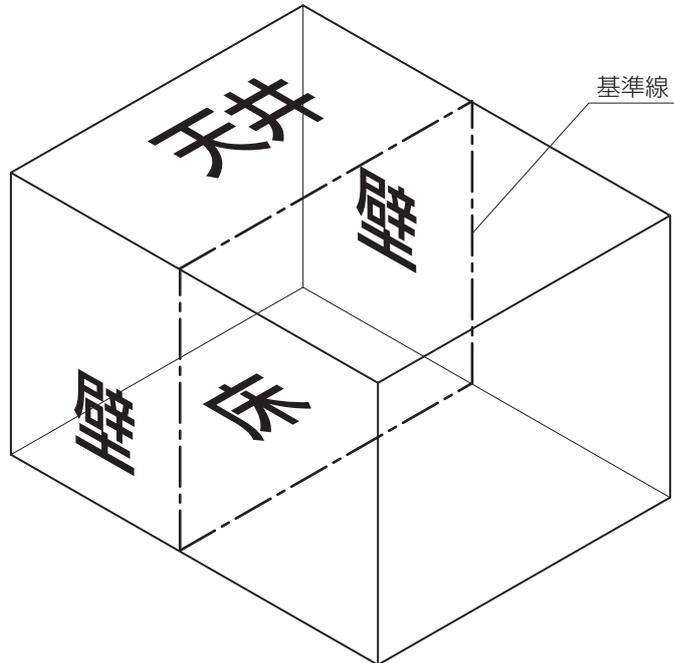
- ・パナソニック電工（株）製 器機用 FC 組合せ器具
品番：WCF2011W 等（取付け枠：WCN3702のもの）
- ・パナソニック電工（株）製 コンセント適合プレート
品番：WCF8202WK

- ②. 建築壁から出ている電源ケーブルを、幅木カバー（コンセント用）のコンセント（パナソニック電工製 WCF2011W など）と結線してください。
- ③. 幅木カバー（コンセント用）のコンセント（パナソニック電工製 WCF2011W など）に、コンセント適合プレート（パナソニック電工製 WCF8202WK）を取付けてください。



1 位置出しとマーキング

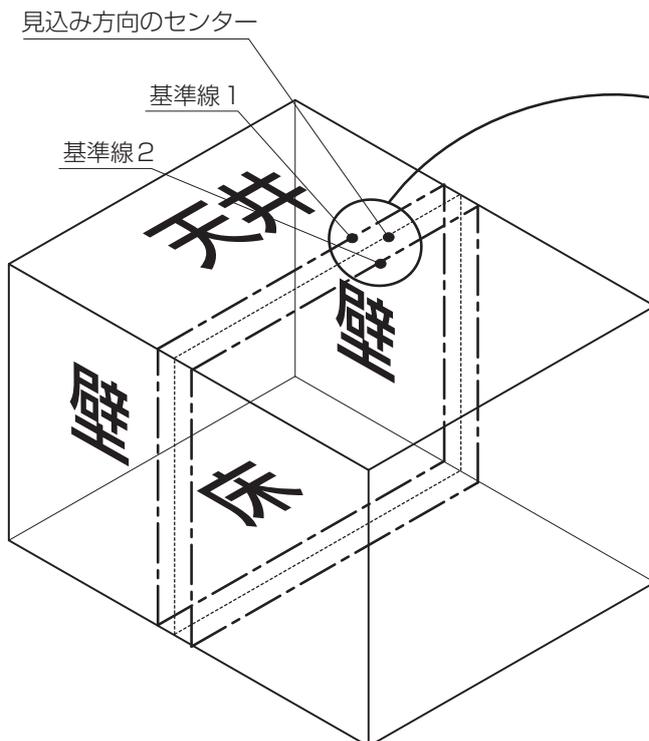
- 1 レーザー墨出し器を使用して、見込み方向のセンターとなる基準線の位置出しを、床、壁、天井に行ってください。
- ※. 基準線の位置に天井下地補強材があるかを確認してください。



- <使用工具>**
- ・レーザー墨出し器
 - ・下げ振り
 - ・金尺
 - ・one-push (ワンブッシュ)
 - ・コンベックス

ダブル壁納まりの場合

- ① ダブル壁納まりの場合は、可変間仕切壁を二重に取付けます。まず、2枚の可変間仕切壁の見込み方向のセンターとなる線の位置出しを行ってください。
- ② 見込み方向のセンターを中心に、70mm 幅で基準線 1 と基準線 2 の位置出しを床、壁、天井に行ってください。



基準線詳細

見込み方向のセンターを中心に、70mm 幅で基準線 2本の位置を出してください。

基準線 1

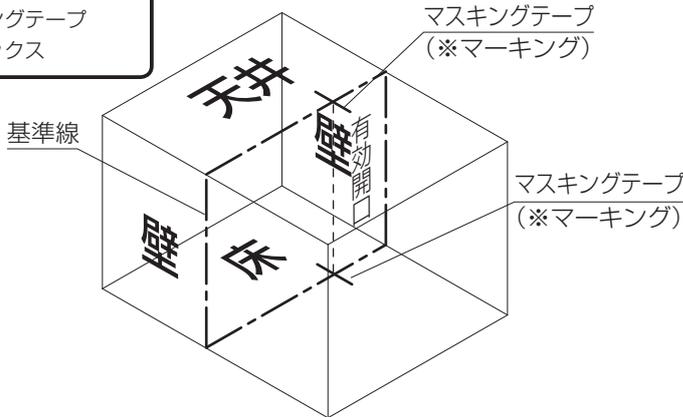
見込み方向中心

基準線 2

70mm

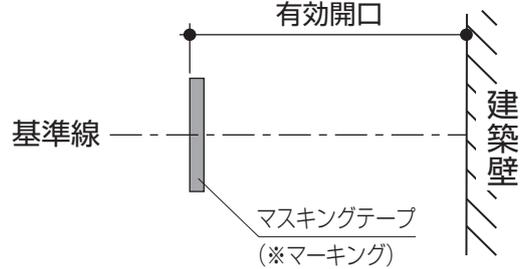
2 袖壁及び独立壁の納まりの場合は、建築壁より有効開口を測定し、床、天井にマスキングテープでマーキングをしてください。

- <使用工具>
- ・マスキングテープ
 - ・コンベックス



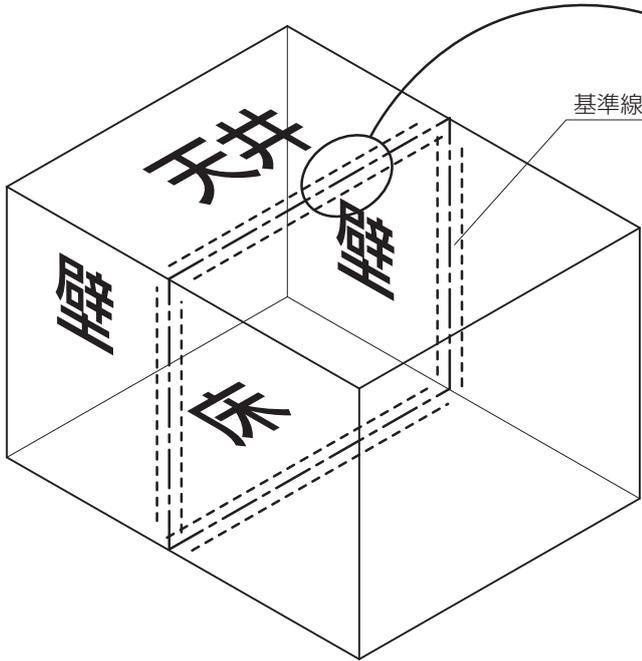
マーキング詳細

テープの縁が有効開口となるようにマスキングテープを張ってください。



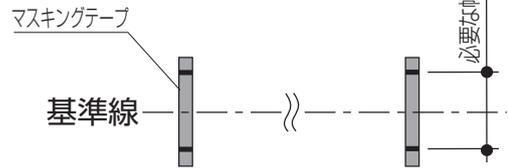
3 基準線をセンターに床、壁、天井にそれぞれ、下ランナー、壁当りA、上ランナーを取付けるのに必要な幅をマーキングしてください。マーキングの幅は左下の表1を参照してください。

- ※. 袖壁及び独立壁の場合、有効開口となる可変間仕切壁を取付けない個所へのマーキングの必要はありません。
- ※. ダブル壁納まりの場合も同様に、2本の基準線に対してそれぞれ、下ランナー、壁当りA、上ランナーの幅をマーキングしてください。

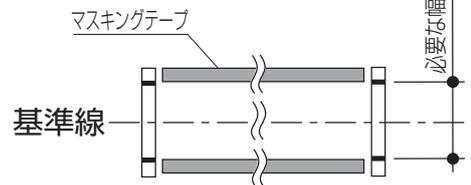


マーキング方法 (例)

①. 基準線に対して垂直にマスキングテープを張り、各必要な幅を、基準線をセンターにマスキングテープの上にマーキングしてください。



②. マーキングに合わせて基準線に平行にマスキングテープを張ってください。



③. ①でマーキングをしたマスキングテープをはがしてください。これで残ったマスキングテープが必要な幅を示すマーキングとなります。

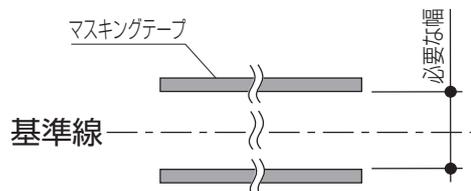


表 1

	必要な幅 (マーキング幅)
天井	48mm
壁	55mm
床	42mm

- <使用工具>
- ・レーザー墨出し器
 - ・下げ振り
 - ・金尺
 - ・マスキングテープ
 - ・コンベックス
 - ・鉛筆

※ダブル壁納まりの場合、使用するマスキングテープの幅によっては間仕切壁の内側はテープが重なってしまい、外側にしかマーキングができない場合があります。

2 壁当りAの取付け

1 設置個所の天井高を測定し、壁当りAのL寸が天井高に合うように、壁当りAの上端部を切詰めてください。(※1)

お願い

※切詰める際は、長すぎると天井及び床材をキズつけるおそれがあり、短すぎると天井及び床材とすき間があくおそれがあります。適正な寸法になるように切詰めてください。

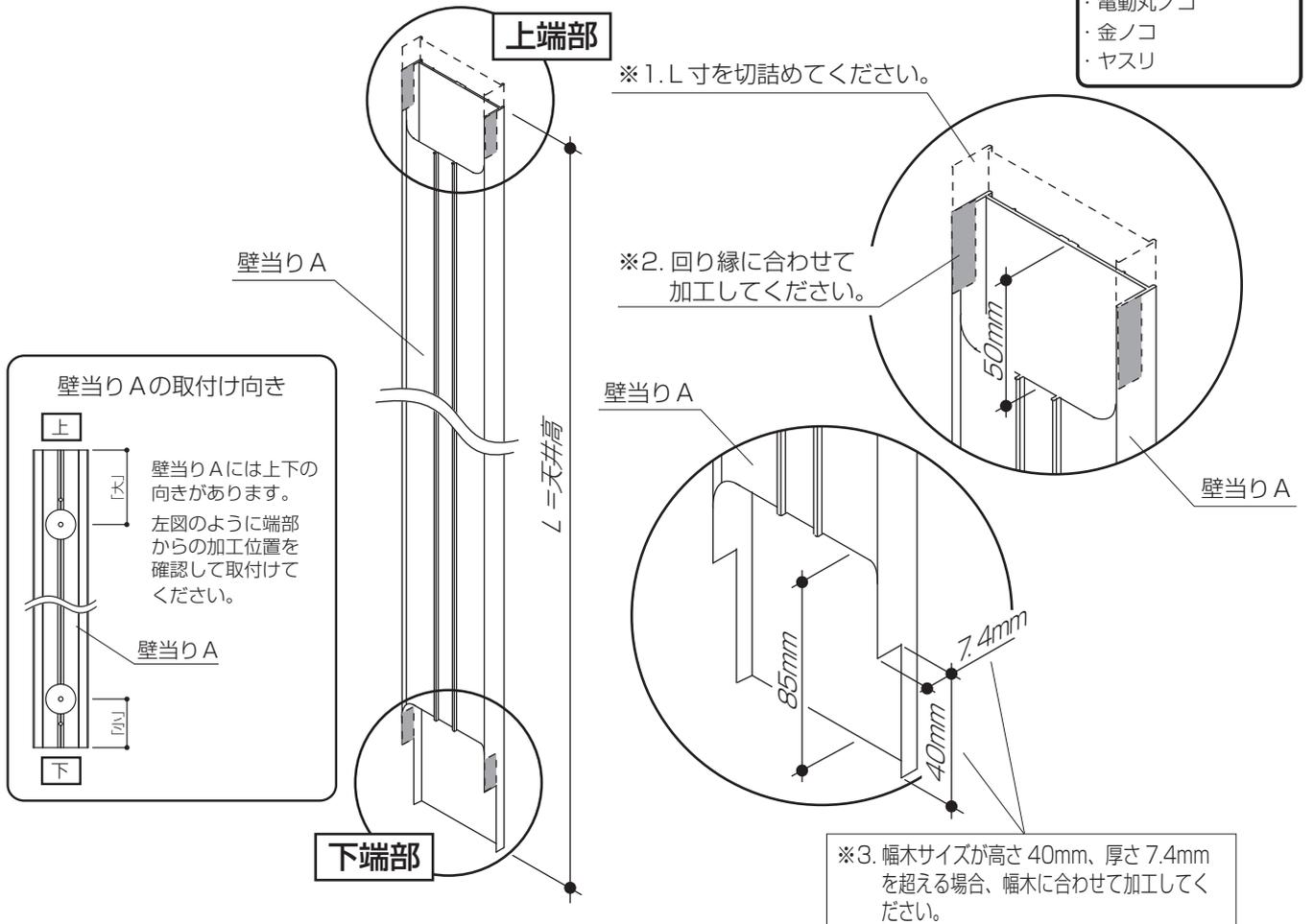
2 回り縁がある場合は、壁当りAの上端部を回り縁に合わせて加工してください。(※2)

3 壁当りA(切り欠き有)の場合、下端部には高さ40mm×厚さ7.4mmの幅木用の逃げ加工がされています。幅木がこのサイズを超える場合は、幅木に合わせて加工してください(※3)

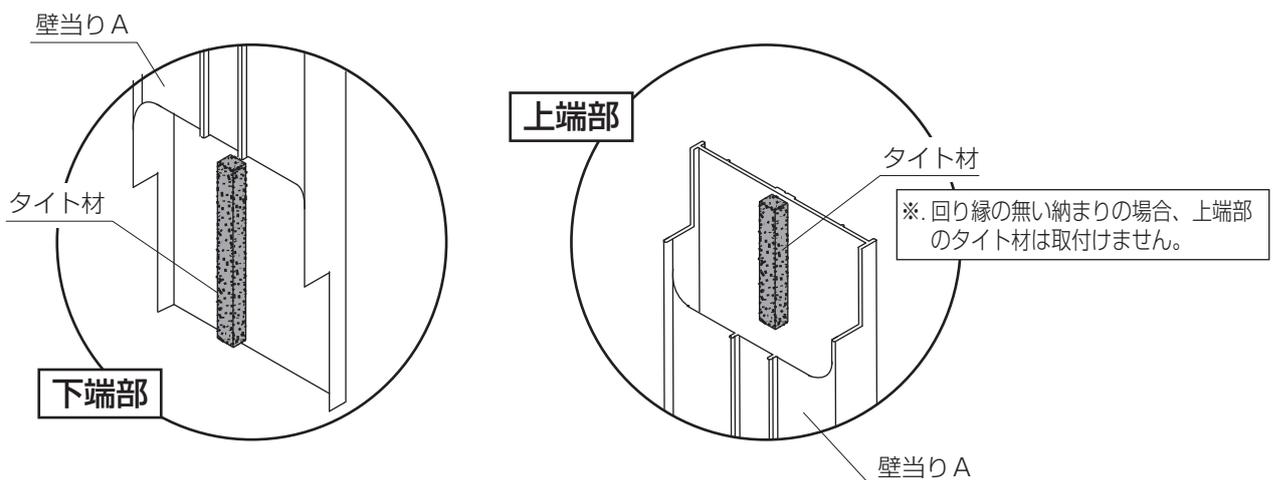
※. 幅木及び回り縁の厚さは最大で10mmまでになります。

<使用工具>

- ・電動丸ノコ
- ・金ノコ
- ・ヤスリ

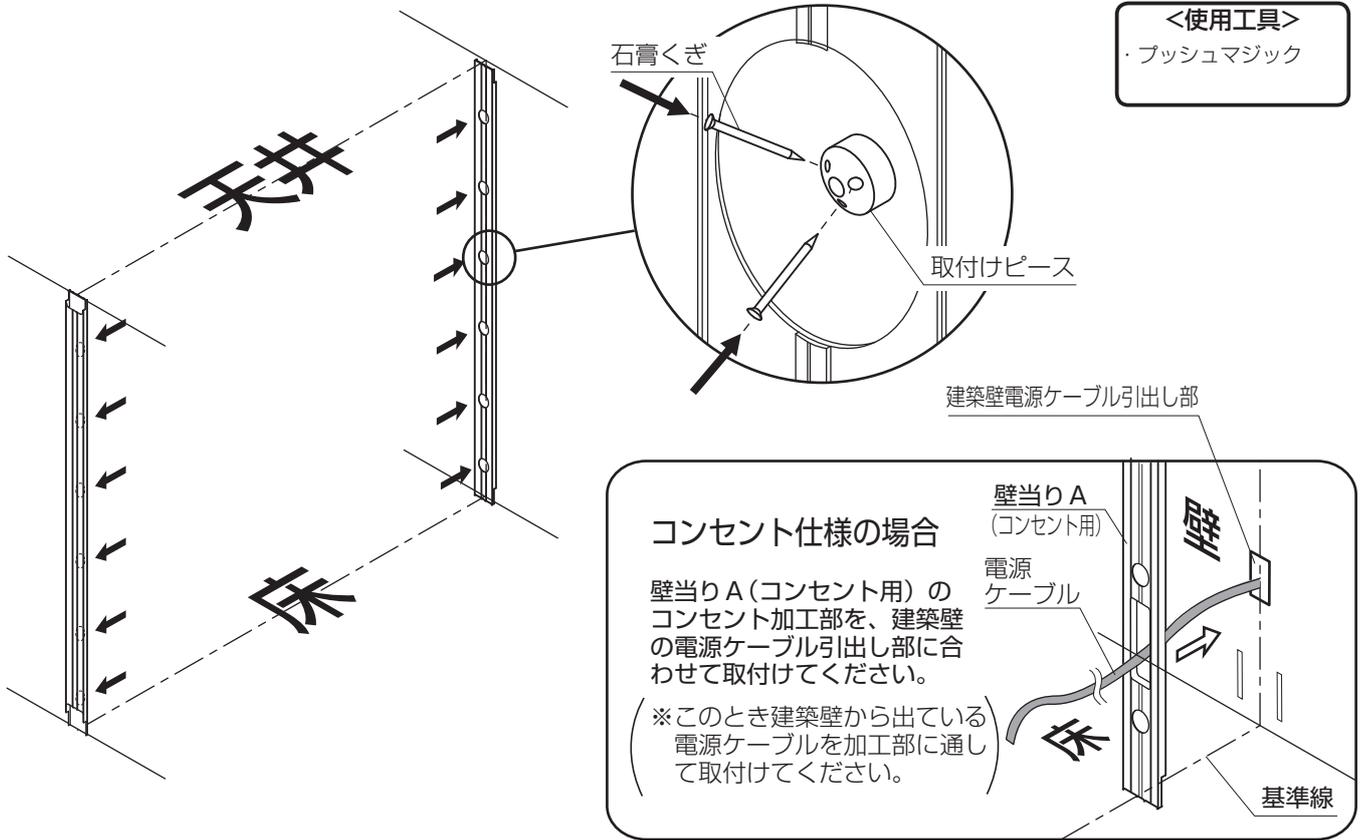


4 壁当りAの上下端の幅木及び回り縁の加工個所に、タイト材を張付けてください。



5 建築壁のマスキングテープに壁当りAを合わせて、取付けピースと石膏くぎで取付けてください。

- ※. コンセント仕様の場合は、建築壁の電源ケーブル引出し部のセンターが壁当りAの設置位置となります。
- ※. 石膏くぎを押し込む際は、プッシュマジックなどを使用してください。(目次ページ内「推奨工具」参照)
- ※. 石膏くぎを押し込む際は、壁当りAのホローの中に落とさないように注意してください。
- ※. 取付けピース1個所につき石膏くぎを3本使用します。



3 上ランナーの取付け

1 天井のマスキングテープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。納まりにより取付ける上ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。

<使用工具>
・ プラスドライバー

天井

壁

マスキングテープ

上ランナー

φ3.8×32 皿木ねじ
※上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。

▲ 注意

● ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。

天井下地補強材

上ランナー

φ3.8×32 皿木ねじ

壁当りAとの取合い

壁当りAと上ランナーの取合いは右のようになります。納まり別の指示で切詰めを行う際に参照してください。

壁当りA

上ランナー

1mm程度

上ランナーの切詰めたことで取付け穴が無くなった場合は、φ5の穴加工を追加して取付けてください。

切詰め

※φ5の穴加工追加

① **壁-壁** 建築壁間の中心を決め、中心から両側の建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。

<使用工具>
・ コンベックス
・ 電動丸ノコ

天井

床

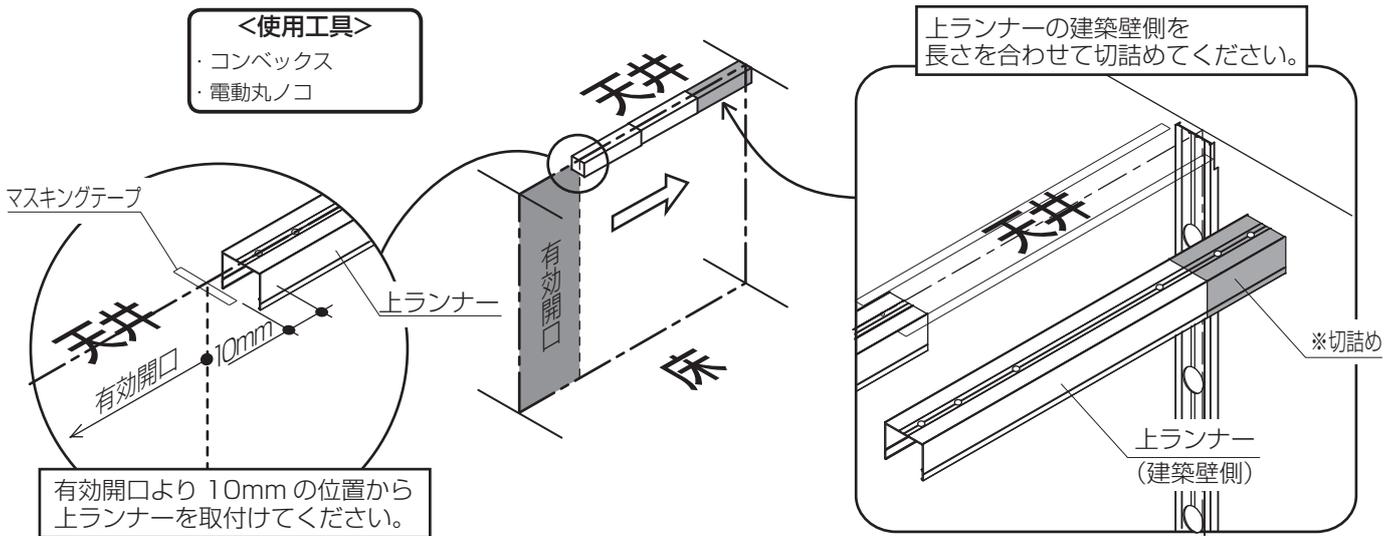
中心

上ランナーの建築壁を長さに合わせて切詰めてください。

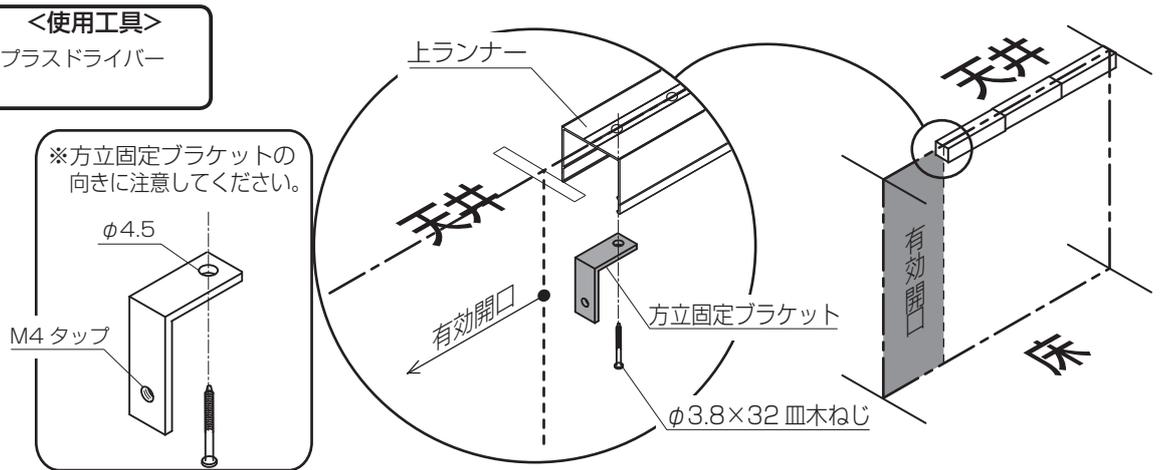
※切詰め

上ランナー (建築壁側)

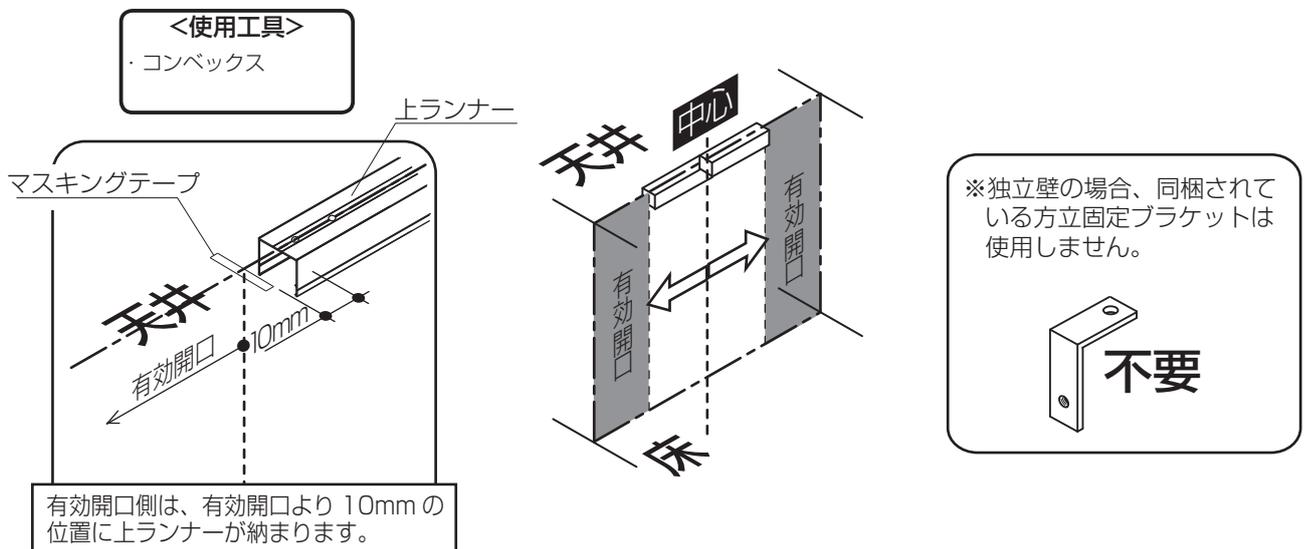
②袖壁 1. 建築壁より「有効開口+10mm」の位置から上ランナーをもう一方の建築壁に向かって取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。



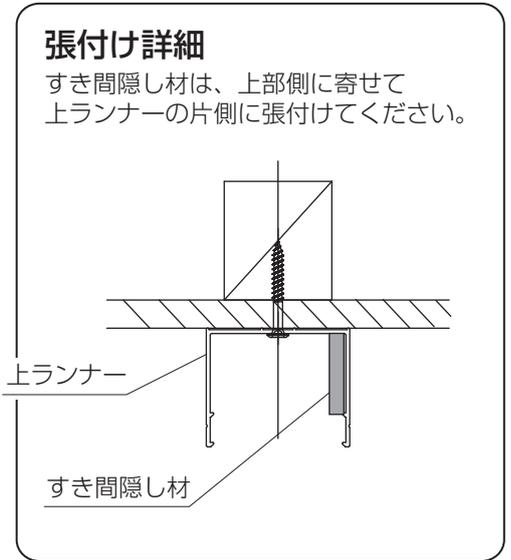
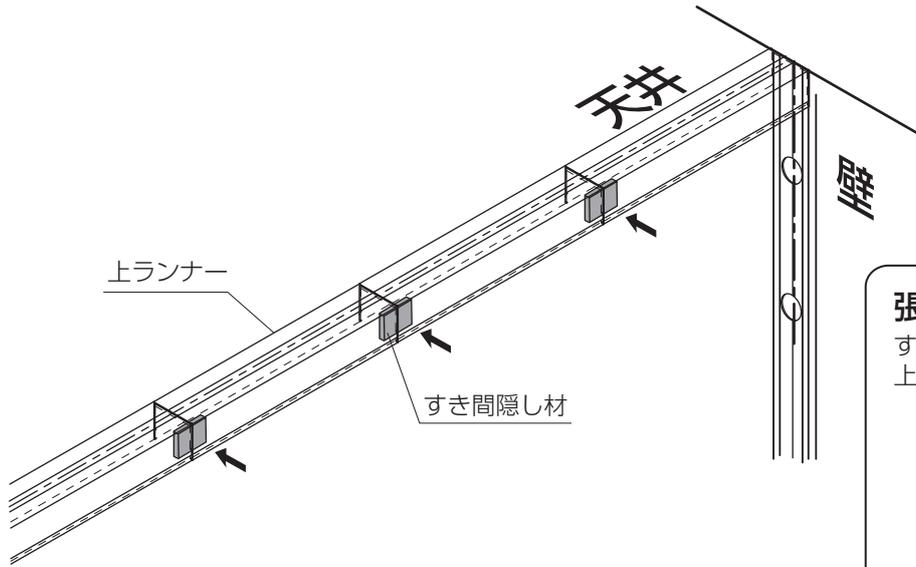
2. 袖壁納まりの場合、同梱されている方立固定ブラケットを上ランナー側の上ランナーに取付けてください。



③独立壁 可変間仕切壁を取付ける個所の見付け方向の中心を決め、中心から両側に向かって順番に取付けてください。



2 上ランナーのつなぎ目の内側に、すき間隠し材を張付けてください。



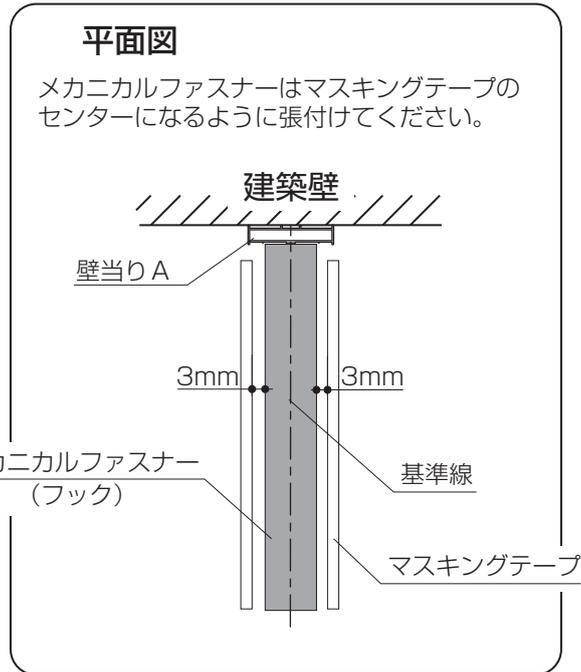
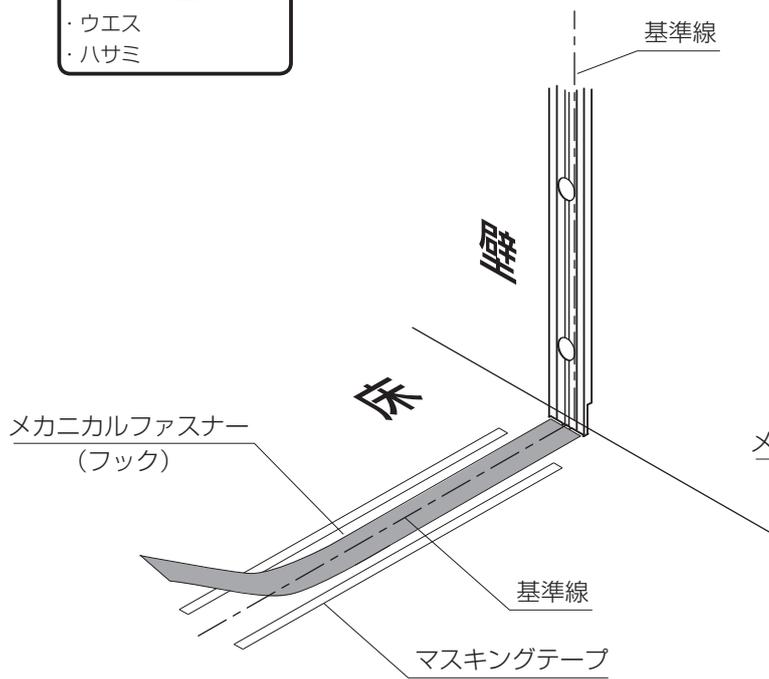
4 下ランナーの取付け

お願い
 ※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭き取ってください。床面に汚れなどがある場合、十分な接着ができません。

1 メカニカルファスナー(フック)を1章で張付けた床面のマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

- ※. メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。
- ※. メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。
- ※. メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

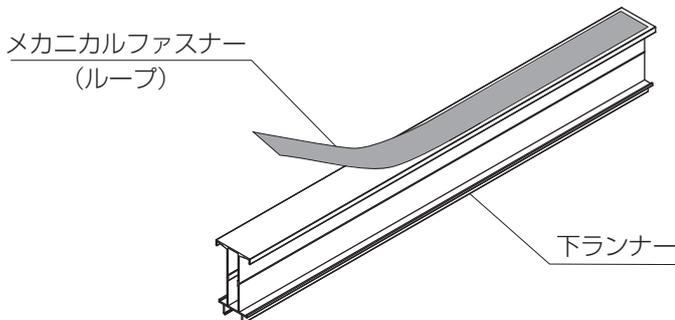
<使用工具>
 ・ウエス
 ・ハサミ



2 下ランナーの汚れなどを拭き取り、メカニカルファスナー(ループ)を張付けてください。

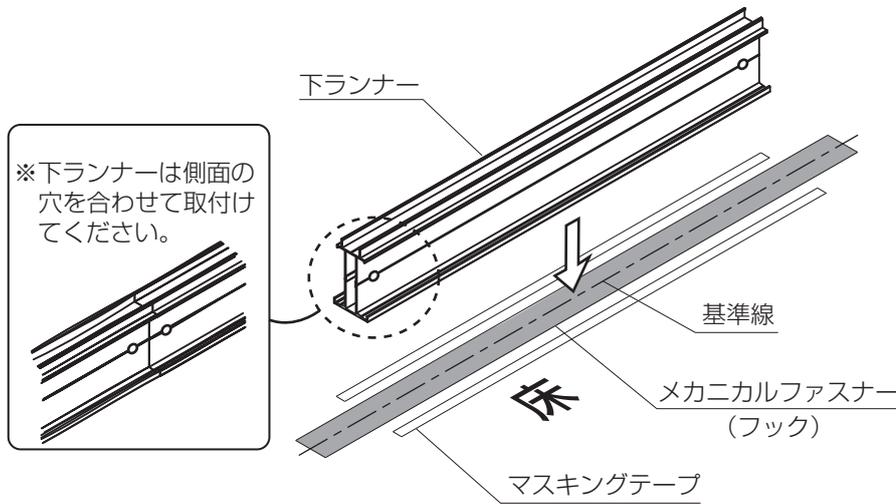
- ※. 建築壁側に取付ける下ランナーは切詰めが必要になりますので、切詰めを行ってからメカニカルファスナーを張付けてください。

<使用工具>
 ・ウエス



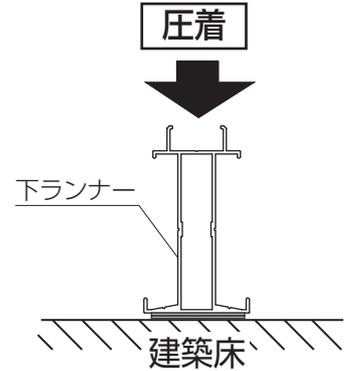
3 床面のマスキングテープに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合せてください。

納まりにより取付ける下ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。



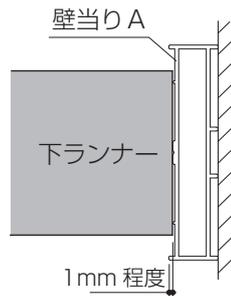
断面図

下ランナーを上から圧着してメカニカルファスナー同士をしっかりと張合せてください。



壁当りAとの取合い

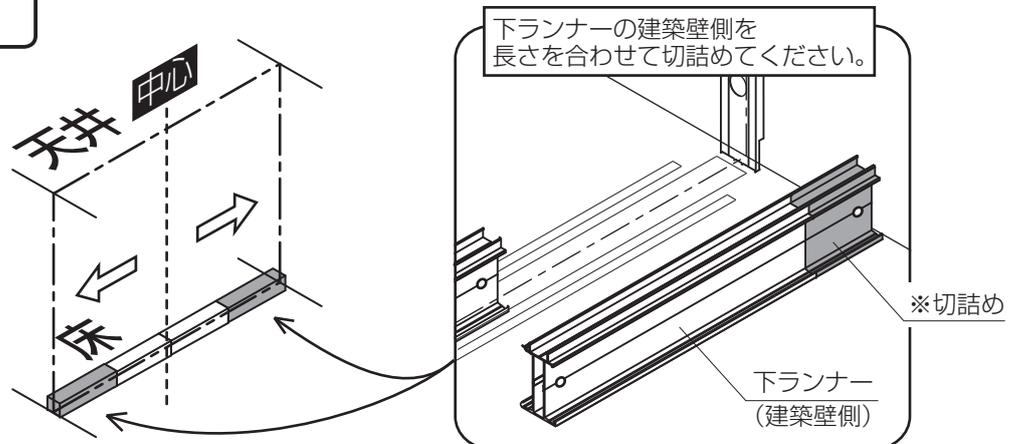
壁当りAと下ランナーの取合いは右のようになります。納まり別の指示で切詰めを行う際に参照してください。



① 壁-壁 建築壁間の中心を決め、中心から両側の建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

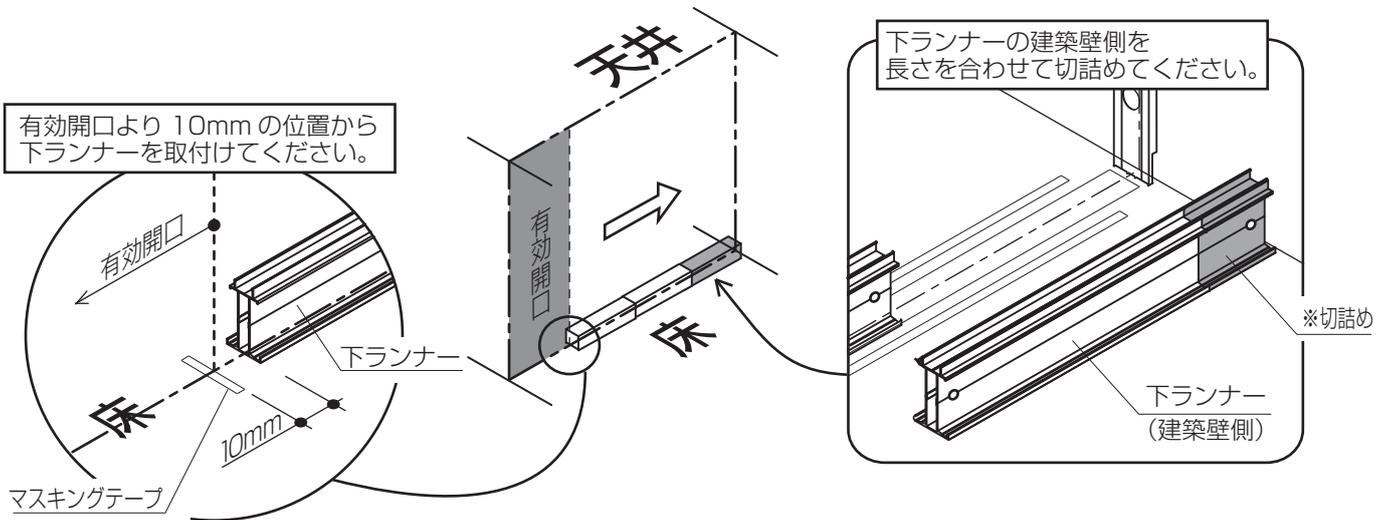
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ



②袖壁 建築壁より「有効開口+10mm」の位置から下ランナーをもう一方の建築壁に向かって取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

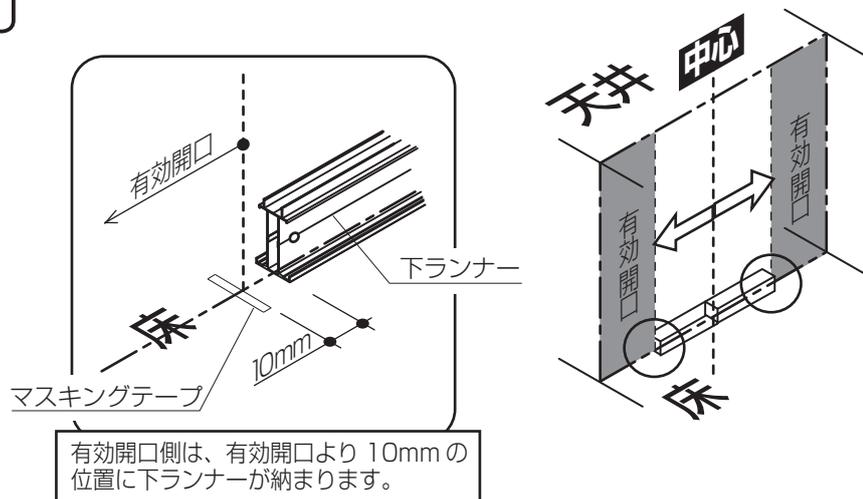
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ



③独立壁 可変間仕切壁を取付ける個所の見付け方向の中心を決め、中心から両側に向かって順番に取付けてください。

<使用工具>

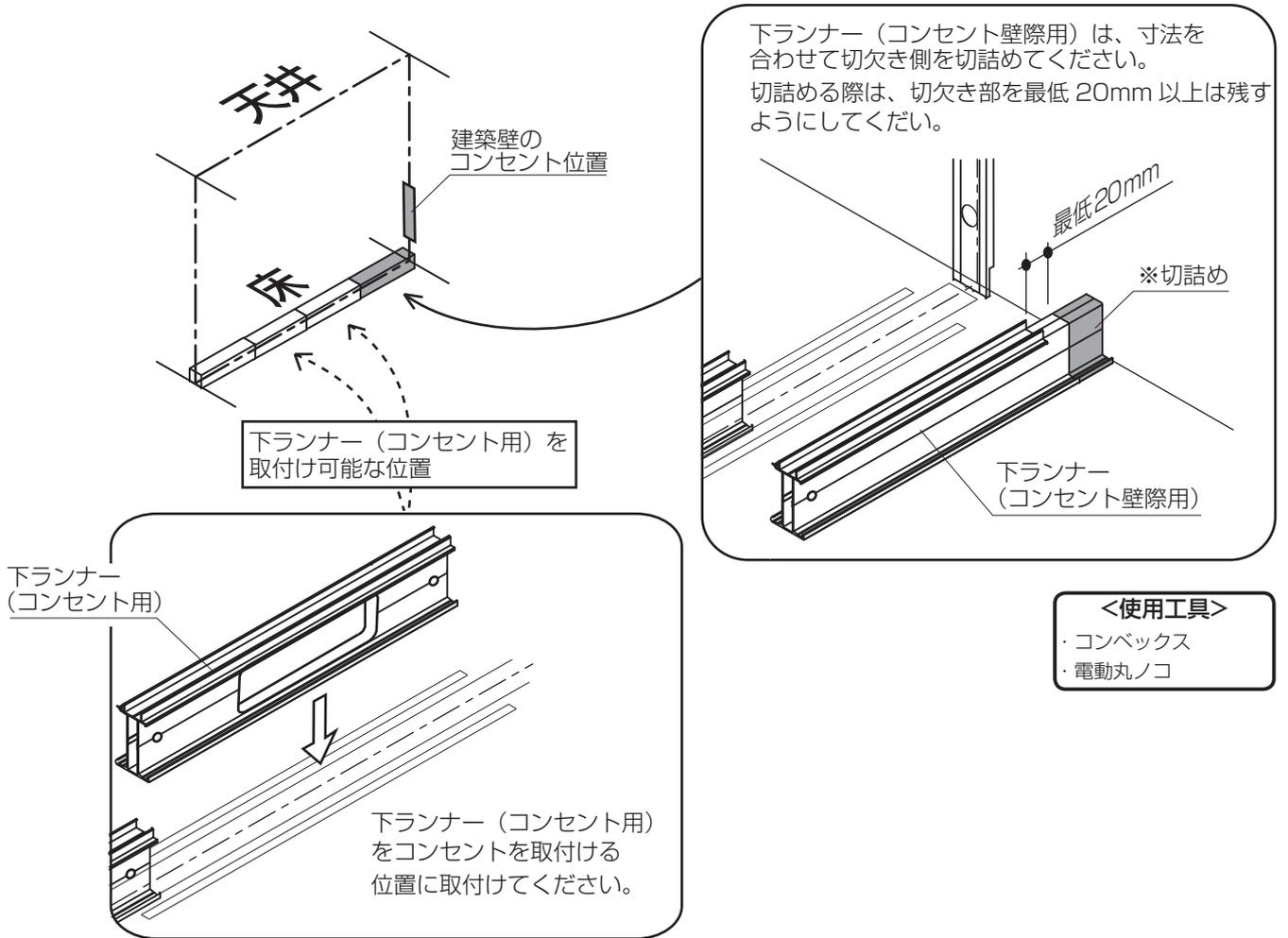
- ・コンベックス



4 コンセント仕様について

コンセント仕様の場合、コンセントのある建築壁側を下ランナー(コンセント壁際用)にして、コンセントを取付ける位置到下ランナー(コンセント用)を取付けてください。

※下ランナーの取付け手順は、各々の納まりの手順に準じます。(P24③を参照してください。)



5 下ランナーのつなぎ目にジョイントプレートを取付けて連結してください。

<使用工具>
・プラスドライバー

